

「鉄と鋼」 「ISIJ International」 投稿規程概要

1. 投稿資格：著者の半数以上が、本会個人会員であること。但し「ISIJ International」は、広く国内外の著者からの投稿を受け付ける。
2. 原稿の内容：(1)鉄鋼並びに各種材料・プロセスに関連する分野の学術及び技術の発展に寄与するもの。(2)両誌掲載以前に公開刊行物に発表される可能性のないものに限る。但し、本会発行の研究会成果報告書は除く。(3)投稿は「鉄と鋼」、「ISIJ International」のいずれか一方のみとする。(4)「鉄と鋼」の原稿は和文、「ISIJ International」の原稿は英文で書かれたものでなくてはならない。
3. 原稿の種類：(1)論文/Regular article(「鉄と鋼」は原則刷りがり6頁以内、但し編集委員会が認めれば8頁以内、「ISIJ International」は刷りがり10頁以内)(2)レビュー/Review(3)寄書/Note(刷りがり3頁以内)(4)技術報告(「鉄と鋼」のみ/刷りがり6頁以内)
4. 投稿の手順：(1)原稿：下記の①から⑧(寄書/Noteの場合、②と③は不要)を完備した正原稿1通、副原稿1通を提出する。副原稿の写真は、鮮明で良質なコピーでもよい。
 ①Application Form(本会所定のもの)；②Synopsis(英語で250語以内)；③Key Words(英語で数語)；④Text(本文)；⑤Reference(文献)；
 ⑥Appendix(付録)；⑦Caption List(キャプションリスト)；⑧Figures/Tables(図・表)
- (2)原稿送付先及び連絡先：〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 新倉ビル2階
 (社)日本鉄鋼協会 学会・生産技術部門事務局 編集グループ「鉄と鋼」/「ISIJ International」係
 Tel: 03-5209-7013 (学会・生産技術部門事務局代表) Fax: 03-3257-1110 E-mail: editol@isij.or.jp
5. フロッピーディスクによる原稿提出：印刷の正確を期するため、著者は、掲載可と判定された原稿を収載したフロッピーディスクを提出することが望ましい。
6. 校正：掲載号が決定した原稿は、著者による校正を1回行う。この際、印刷上の誤り以外の修正・加筆・削除は原則として認めない。
7. 別刷り購入の義務：別刷りは有料とし、論文/Regular article, 寄書/Note及び技術報告の著者は、最低50部を購入しなければならない。
8. 著作権の帰属：掲載された記事の著作権は、受付年月日から本会に帰属する。

「鉄と鋼」 「ISIJ International」 執筆要領概要

1. 原稿の長さ：原稿の種類別に投稿規程に定められた刷りがり頁制限を厳守する。字数換算の目安は以下の通り。

	鉄と鋼	ISIJ International
刷りがり1頁	約2400字	約1000語
表題・著者名・Synopsis・脚注	約1500字	約500語
引用文献	1件約50字	1件約20語
図	刷りがり横幅85mm未満(以上)の場合は、 刷りがりの高さ10mmあたり約50(100)字	110mm×84mmの場合、約250語

2. 原稿書式：A4判用紙にワープロで横書きとする。鉛筆書き不可。「鉄と鋼」は1頁：25字×18行、「ISIJ International」は、上下・左右十分余白をとり、ダブルスペースでタイプ打ちする。
 - ①Synopsisは、目的、方法、重要な結果等を、簡潔明瞭に英語で250語以内にまとめ、A4判用紙にダブルスペースでタイプする。(寄書/Noteは不要)
 - ②Key Wordsは、記事内容を表す重要な述語数語を英語で選ぶ。固有名詞以外は小文字で、語間はセミコロンで区切る。(寄書/Noteは不要)
 - ③本文の章、節、項、小見出しの記号は、下記の要領に従って表記する。
- | | | | |
|------|---------|---------|---------|
| 章 | 1 | 2 | 3 |
| 節 | 1. 1 | 1. 2 | 1. 3 |
| 項 | 1. 1. 1 | 1. 1. 2 | 1. 1. 3 |
| 小見出し | (1) | (2) | (3) |
- ④引用文献は、本文中の引用箇所¹⁾, ^{2,3)}, ⁴⁻⁶⁾のように、上付き通し番号を付けて示し、本文の最後に頁を改めて、番号順に記載する。執筆著者名は全員記載する。雑誌については、和文、欧文にかかわらず英文表記とする。2003年4月1日以降の本会発行の研究会成果報告書は、原則として引用不可とする。記載例は以下の通り。

注) *1: Proc.出版元の名前 *2: Proc.出版元の所在地

- 例) 1) N.Masuko: *Tetsu-to-Hagané*, 77(1991), 871.
 2) A.Laasraoui and J.J.Jonas: *ISIJ Int.*, 31(1991), 95.
 3) S.Suzuki and K.Suzuki: *CAMP-ISIJ*, 5(1992), 1433.
 4) N.Sano, D.J.Min and T.Wakasugi: Proc. of 6th Int. Iron and Steel Cong., ISIJ^{*1}, Tokyo^{*2}, (1990), 279.
 5) W.C.Leslie: *The Physical Metallurgy of Steels*, McGraw-Hill, New York, (1981), 621.
 6) A.D.Rollet, U.F.Kocks, J.D.Erbury, M.G.Stout and R.D.Doherty: Proc. 8th Int. Conf. on Strength Metals and Alloys(ICSMA 8), ed.by P.O.Kettunen et al., Pergamon Press^{*1}, New York^{*2}, (1988), 433.
 7) 浅井滋生: 第153・154回西山記念技術講座, 日本鉄鋼協会編, 東京, (1994), 89.
 8) 伊丹 淳, 潮田浩作: 鉄鋼の高強度化と信頼性向上, 日本鉄鋼協会編, 東京, (1997), 98.
 9) J.Burke 著, 平野賢一, 堀 仁訳: 金属相変態速度論入門, 共立出版, 東京, (1972), 47.
 10) 第3版鉄鋼便覧Ⅲ, 日本鉄鋼協会編, 丸善, 東京, (1980), 717.

- ⑤図・表のキャプションは、引用文献の後に頁を改めて英文で記載する。図・表中の文字も英文にする。
- ⑥表はTable, 図と写真は区別することなくFigureとして統一し、それぞれ通し番号を付け、本文原稿右余白にその挿入位置を記入する。
 (a)Table及びFigureは、一つずつA4判の用紙に書き込みまたは貼り付け、右下隅に著者名を記入する。(b)図は製版に直接使用できるように明瞭に作成する。通常の図は「鉄と鋼」の場合85mm幅、「ISIJ International」の場合84mm幅に縮小印刷されるので、文字の大きさに注意する。(c)写真はスケールを記入し、厚手のA4判の用紙に貼り付ける。複数の写真よりなるFigureの場合は、それぞれの写真を(a), (b), ……のように示し、写真はスペースを空けずに貼り付ける。(d)カラー写真は論文誌編集委員会で認められたものに限り、著者の実費負担により掲載できる。

(社)日本鉄鋼協会論文誌編集委員会

投稿規程全文およびApplication Formは毎年12月号に掲載しております。

本会ホームページ(<http://www.isij.or.jp/>)にも掲載しております。